

山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク再認定審査について

平成26年7月24日
山陰海岸ジオパーク推進担当

平成22年10月に世界ジオパークネットワークに加盟認定された山陰海岸ジオパークは、4年に1度の世界ジオパークネットワークの再認定審査を8月に受検します。この度は、昨年12月に日本ジオパークに認定された鳥取市西部のエリア拡大も含めて再認定を目指しています。

1 現地審査日程

平成26年8月3日(日)～8月6日(水)の4日間

月 日	府 県	市 町	視察場所等
8 / 3 (日)	鳥取県	鳥取市	鳥取砂丘
8 / 4 (月)	鳥取県	鳥取市	あおや和紙工房、鹿野町並み ※出発前に山陰海岸ジオパーク全体の概要説明
		岩美町	浦富海岸島めぐり遊覧船、城原海岸 渚交流館、山陰海岸学習館
8 / 5 (火)	兵庫県	新温泉町	湯村温泉旅館
		新温泉町	新温泉町山陰海岸ジオパーク館
		香美町	今子浦
	豊岡市	神鍋火山、玄武洞公園	
8 / 6 (水)	京都府	京丹後市	丹後温泉旅館
	兵庫県	豊岡市	兵庫県立大学大学院、コウノトリ文化館 日和山ガイドセンター 意見交換会、記者会見等

(イタリア、中国から審査員が来日)

3 受検対応

山陰海岸ジオパーク推進協議会(事務局、学術部会、関係府県市町)を中心に、それぞれの視察先、ガイド団体、日本ジオパーク委員会、環境省等と連携して現地審査受検に対応する。

4 エリア拡大について

山陰海岸国立公園を中心とする、京都府の経ヶ岬から鳥取県の白兔海岸にかけての東西約110km、南北最大30kmに及ぶ山陰海岸ジオパークエリアを、活断層地形と鳥取地震の災害遺構や鳥取砂丘から連続する砂丘地形に着目し、西側の青谷海岸にかけて約10km拡大する(全体で東西約120kmに)。これにより、エリア面積が約2,458km²となる。 ※日本ジオパークとしては、昨年12月の再認定とともにエリア拡大も認定済



5 審査結果の発表

9月19日(金)～22日(月)にカナダ・ストーンハンマージオパークで開催される「第6回ジオパーク国際ユネスコ会議」にて、審査結果が発表される予定。

6 参考：「第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウム」について

山陰海岸ジオパークでは、アジア太平洋各国のジオパーク関係者の相互理解を深めるとともに、日本ジオパークネットワークの活動状況や成果をアジア太平洋地域に広く発信するため、平成27年に「第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウム」を開催する。(別紙参照)

会 期 : 平成27年9月16日(水)～20日(日)

開 催 地 : 鳥取市、豊岡市、京丹後市ほか

参加予定者数 : 600名(国外200名、国内400名)

※アジア太平洋ジオパークネットワークのメンバー：中国、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ベトナム

※これまでの開催地：第1回〔H19年〕マレーシア(ランカウイ)、第2回〔H23年〕ベトナム(ドン・バン)、第3回〔H25年〕韓国(済州島)

メインテーマ

ジオパークネットワークと人々の暮らし
Geoparks : Networking and Society

セッションテーマ

海と人々の暮らし (The Sea and People's Lives)
文化遺産とジオストーリー (Cultural Heritage and Geostories)
自然の保護・保全とインタープリテーション (Conservation and Interpretation of Nature)
ジオツーリズム (Geotourism)
地域づくり (Sustaining Local Communities)
教育 (学校・生涯学習) [Education (School, University and Life-long Learning)]
防災・減災 (Geohazard Risk Reduction, Prevention and Mitigation)
ジオパークマネジメントとネットワーク活動 (Management and Networking)
ジオパークをめざして (Aspiring Geoparks)
評価と勧告に基づく改善について (Improvements based on Assessment and Recommendations)

主催

第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク
山陰海岸シンポジウム組織委員会

役職	所属	名前
委員長	日本ジオパーク委員会委員長	尾池 和夫
副委員長	国立大学法人鳥取大学名誉教授	西田 良平

アクセス

【飛行機】

- ◇コウノトリ但馬空港まで
- 大阪 (伊丹) 空港から 約 35 分
- 羽田空港から 最短 2 時間 (大阪 (伊丹) 空港乗継ぎ)
- ◇鳥取空港まで
- 羽田空港から 約 1 時間 10 分

【KTR (北近畿タンゴ鉄道) 網野駅まで】

- [鉄道 (特急利用)]
- JR 大阪駅から 約 3 時間 10 分
- JR 京都駅から 約 2 時間 40 分
- JR 鳥取駅から 約 2 時間 30 分

【JR 豊岡駅まで】

- [鉄道 (特急利用)]
- JR 大阪駅から 約 2 時間 30 分
- JR 京都駅から 約 2 時間 20 分
- JR 鳥取駅から 約 2 時間
- [高速バス]
- 大阪から 約 3 時間 10 分

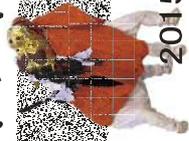
【JR 鳥取駅まで】

- [鉄道 (特急利用)]
- JR 大阪駅から 約 2 時間 30 分
- JR 京都駅から 約 2 時間 40 分
- [高速バス]
- 大阪から 約 2 時間 50 分
- 京都から 約 3 時間 30 分

第4回

アジア太平洋ジオパーク ネットワークシンポジウム

山陰海岸シンポジウム



2015 年 9 月 16 日 [水] ▶ 20 日 [日]

京都府京丹後市・兵庫県豊岡市・香美町・新温泉町、
鳥取県鳥取市・岩美町



APGN2015 シンポジウム事務局

(山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局内)

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町 7-11

TEL 0796-26-3783/FAX 0796-26-3785

E-mail: geopark@pref.hyogo.lg.jp

APGN2015



SAN'IN KAIGAN
Global Geopark, JAPAN



目的

ジオパークは「地球科学的に貴重な遺産を保護しつつ、それらを教育や科学振興、地域の観光事業に役立て、地域経済の活性化のために活用することによって、地域の持続可能な発展を図る」ことを目指しています。

第4回アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウムでは日本の山陰海岸を舞台として、アジア太平洋各国のジオパーク関係者が集い、活発な意見交換を行うことで、メンバーの相互理解を深めていきます。また、日本ジオパークネットワークの活動状況や成果をアジア太平洋地域に広く発信します。

※アジア太平洋ジオパークネットワークのメンバーは、中国、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ベトナムにあり、シンポジウムの開催は、第1回マレーシア、第2回ベトナム、第3回韓国で行われました。第4回シンポジウムは、日本で初めて開催されることになりました。

スケジュール

日付	内容
2014年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・2nd サーキュラー ・アブストラクト受付 ・ポスター発表受付 ・参加登録受付 ・ジオパークフェア受付
2015年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・アブストラクト締切 ・ポスター発表締切 ・早期参加登録締切 ・ジオパークフェア締切
2015年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・参加登録最終締切 ・発表者連絡

※この予定は、変更の可能性があります。

会期

日時	9月16日(水)	9月17日(木)	9月18日(金)	9月19日(土)	9月20日(日)
開催地	京丹後市	豊岡市	豊岡市、香美町、新温泉町	鳥取市	鳥取市、岩美町
午前		登録 開会式 基調講演	開会中ツアー	登録 全体会議及び分科会	閉会后ツアー (オプショナル)
午後	開会前ツアー (オプショナル)	分科会 ポスターセッション		分科会 ポスターセッション	
夕方	アイスブレイクパーティー (オプショナル)	ウェルカムパーティー		新規GGNメンバー紹介 開会式 次回開催地紹介 フェアウエルパーティー	

山陰海岸ジオパークエリア



山陰海岸ジオパーク

山陰海岸ジオパークは、大阪の北西部に位置し、京都府(京丹後市)、兵庫県(豊岡市・香美町・新温泉町)、鳥取県(岩美町・鳥取市)にまたがる広大なエリアを有しています。

2010年10月に世界ジオパークネットワークへの加盟が認定されました。



山陰海岸ジオパークは、日本列島が大陸の一部であった時代から、日本海が形成され、現在にいたるまでの様々な岩石や地層、多様な海岸地形、滝や渓谷など、貴重で美しい地形・地質を観察することができます。またそれらから多岐にわたる多彩な自然を背景とした生き物や人々の暮らし、文化・歴史に触れることができます。

山陰海岸ジオパークを代表する兵庫県豊岡市の「玄武洞」の玄武岩から、第四紀(約260万年前から現在までの地質年代)に地球磁場が逆転していた時期のあることが、世界で初めて提唱されました。約260万年前の地磁気逆転は、第四紀の始まりを認識する指標の一つとなっています。

また、この地域では地すべり地形を利用した棚田や但馬牛の飼育、多様な海底地形がもたらすズワイガニなどの海産物、豊岡盆地の形成とコウノトリや麩産業、砂地を活用したたらつきよちやメロン栽培など、地形・地質と密着した人々の生活が営まれています。

【9月の豊岡の気温】 最高気温 27.4℃ 最低気温 18.6℃